



## 新たな芽吹きの子節を迎えて

学部新入生の皆様。ご入学おめでとうございます。こころよりお祝い申し上げます。

これから大学生としての新たな生活を始めることとなりますね。皆さんは新学期早々にキャンパスのあちらこちらで満開の桜を目にし、その後の子節の移ろいの中で、そびえたつ木々の緑の濃さ、赤や黄色の落ち葉舞う中の風を感じるようになるでしょう。

大学入学に至る前の3年間、学業や部活動等、様々な面でもまならないことが多く、ほぼ毎日マスクをつけた生活を送ってきたことと思います。その中で、皆さんが真摯に取り組んできたことがこの春につながっています。

在校生の皆様。ご進級・ご進学おめでとうございます。改めてうれしさや新鮮さを感じていることと思います。

何かと制限の多い大学や大学院の生活の中で、当初に思い描いていた日々とは違ったという落胆も、自分なりにそれに慣れたという手応えもあるかもしれません。我慢や工夫が必要な大学・大学院生活であったことと思います。

コロナ禍と言われる時期が始まり、新型コロナウイルスへの感染者数の増加と減少を繰り返しながら約3年が経ちました。今後、終息に向かうことが期待され、新型コロナウイルスの感染法上の分類は現在の2類から5類へと変更されて季節性インフルエンザと同じ扱いになります。マスク使用が既に緩和されつつあり、その傾向がさらに進み、自由に生活できる感覚が増していくと思われます。

コロナ禍により大きく変わったこと、変わらざるを得なかったことの一つは、人との関わり方です。ビデオ通話やオンラインのツールを活用することにより、我々は離れた場所にいながらお互いに話や交流ができる便利さを実感しました。大学での授業やサークル活動でもそれらのツールが活用されました。一方、人のかかわりがオンライン上に限られがちなことへの違和感やツールを閉じた後に急に一人になる寂しさを感じることもあったと思います。これらは、誰かと一緒にいること・場を共にすること、何気ない会話や雑談をすることに何らかの意味や効果があることを感じさせるものかもしれません。これからはお互いに直接顔を合わせ、交流する機会が増えていくと思われます。最初はマスクなしで人と出会うことに戸惑いを感じる人もいるかもしれません。しかし、数年前まで我々はそれを当たり前のこととしていたのです。コロナ禍以前も以後も体験した皆さんであるからこそ、これから幅広い形で人と関わるができるでしょう。新たな出会い・経験をぜひ楽しんでほしいと思います。

東北大学学生相談・特別支援センターのホームページに、「現在の困難に対処し、充実した学生生活を送るためのヒント集(Q&A)」を掲載しています。ぜひ大学生活上の参考にしてください。



学生相談・特別支援センター ホームページ：<http://www.ccds.ihe.tohoku.ac.jp/>

学生相談所(学業、対人関係、心理面等、学生生活に関する様々な相談に対応しています)

TEL:022-795-7833 E-Mail(受付):gakuso@ihe.tohoku.ac.jp

特別支援室(障害等に起因する学業や生活に関する相談に対応しています)

TEL:022-795-7696 E-Mail(受付):t-sien@ihe.tohoku.ac.jp



2023年4月1日

学生相談・特別支援センター スタッフ一同

